

(様式)

平成25年度 津山市立加茂小学校 学校評価書

校長 後河 肇



1 自己評価

I 評価結果

分掌組織を見直して臨んだ今年度だったが、組織として機能できなかった。そのため、計画していた教育活動、校内研究等に成果があまり見られない。「つながり」を大切にする教育を基本としたが、生徒指導上の課題で追われてしまい、不十分な結果である。

II 分析・改善方策

組織機能不全は教務の不在と学級支援の量的増大が大きな要因である。やむを得ない措置として行ったことだが、その代償は大きかった。組織として教師力向上に取り組み、正常な学校運営が可能な校内人事と同僚性の構築に取り組まなければならない。

2 学校関係者評価委員会

八木恵美子・児玉収司・三浦武正・志水比佐代・中塚秀基

3 学校関係者評価

学校としては目の前の課題にしっかり取り組んできたと思われる。今年度の状況で成果を上げることは難しかった。保護者の理解と連携をより一層、求めていくべきである。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

① 「心の教育」

人権意識の高揚・自己肯定感をつける取り組み

② 基本的信頼関係の再構築：対児童・保護者・地域

児童理解を深める。

教師としての力量を高める。

③ 加茂小学校のスタンダードの確立

授業規律・学び合いの学習・学力向上・自主活動（児童会）

④ 総合的な体力づくり

柔軟性・握力の向上

全校での体力づくり

⑤ 組織的学校運営の確立

教頭、教務中心に定例化した学校運営会の開催